

FCS1000Plus 16ch SD/HD-SDI, ASI(TS), IP Video エラー検出監視ユニットの初期設定概要

今回は、Nevion 社製品をご購入いただきましてまことにありがとうございました。本製品を、使用するにあたり以下の初期設定が必要になりますのでご一読ください。

1. マネージメント Ethernet ポートの IP アドレスの設定

FCS1000Plus の動作モニター及び設定には、web ベース HTML ブラウザを使用しますのでこの Ethernet ポートの IP アドレスを最初に設定します。（出荷時は、192.168.0.202 ～に設定されていますが複数台同時納品の場合重複しないように異なるアドレスになっていますので LCD 表示をご確認ください。）設定方式は、前面 LCD パネル、ボタン、Telnet 接続、RS232シリアルコンソール接続によって可能です。ここでは、一番シンプルな前面パネル LCD、ボタンによる設定を説明します。



中心チェックボタンを押して
NETWORK CONFIG メニューに入ります。

←→カーソルボタンを押して IP アドレス
桁に移動して↑↓カーソルで変更します。
Apply に移動してチェックボタン、最後に x
ボタンを押して完了です。

注) IP ストリーム用 Data ポートは、IP アドレスの設定等はありません。(Data ポートは、1000Base-Tのみに対応しています。100Base-Tx ではリンクアップしません。PC やサーバーなどと直結接続は可能です。MDI/MDIX 自動検出でストレートケーブルで OK です。)

2. 時間、タイムゾーンの設定、NTP サーバー

ログ記録等のローカル時間は、内部バックアップ電源及び NTP サーバーとの同期により調整されます。NTP サーバー設定は、web ブラウザで設定できますが、タイムゾーン設定と NTP サーバー同期を使用しない場合の手動設定は、telnet または RS232 コンソール接続により設定する必要があります。



タイムゾーン

telnet でマネージメントポートへ接続します。ログイン ID は、fsc パスワードは、password です。

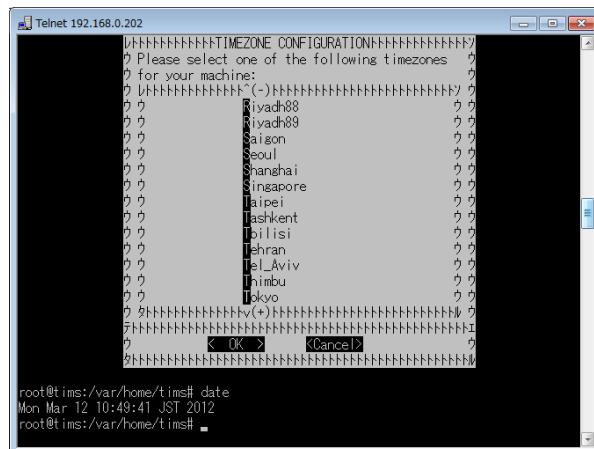
ログイン後、root ディレクトリへ移動するため su と入力してシステム設定のディレクトリへ移動します。

```
fcs@tims:~$ su
Password:
root@tims:/var/home/tims#
```

root ディレクトリへのパスワードは、qazxsw です。

このディレクトリでタイムゾーン設定のコマンド `tzconfig` を入力します。

以下のタームゾーン国別リストメニューより該当国名を選択します。



NTP サーバーの設定は、マネージメント Ethernet ポート（出荷時は、192.168.0.202 ～に設定されています。）へ接続し web ブラウザで行なうことができます。メニュー System Configuration / NTP Setting で指定します。

Web ブラウザへのログイン ID / パスワードはデフォルトで **fcs / password** になっております。

NTP Settings					
NTP Server	ID Address	Port Interval (Secs)	Since Since	Last Read	Last Poll
Disabled	0 0 0	0	n/a	n/a	n/a
Disabled	0 0 0	0	n/a	n/a	n/a

Save Changes Restart NTP Refresh

Menu
Home > NTP Settings >

- ☰ FCS1000-PLUS
 - Channel Summary
 - Channel 1
 - Channel 2
 - Channel 3
 - Channel 4
 - Channel 5
 - Channel 6
 - Channel 7
 - Channel 8
 - Channel 9
 - Channel 10
 - Channel 11
 - Channel 12
 - IP Flow Setup
- System Configuration
 - Alarm Settings
 - Config 1
 - ASI Config
 - SDI Config
 - Config 2
 - Config 3
 - Config 4
 - Config 5
 - Config 6
 - Config 7
 - Config 8
 - Config 9
 - Config 10
 - Config 11
 - Config 12
 - Config 13
 - Config 14
 - Config 15
 - Config 16
 - SDI Settings
 - ASI Settings
 - IP Settings
 - IP Profiles
 - SNMP Settings
 - RTSP Settings
 - Other Settings
 - Video Split Config
 - Upload/Download
 - Change Password
 - System History

3. 背面パネル

背面パネルには、ビデオ入力の BNC とステータスマニター出力 SD-SDI とコンポジットビデオ出力 BNC 16 input x Loopout + モザイクモニター出力 2 個 = 計 34 個を装備しています。

Ethernet ポートは、ステータスモニター用 management Ethernet ポート (10/100/1000Base-T) と SFP ケージに挿入された Copper SFP (1000Base-T)、アラームパラレル接点出力の GPI 端子（高密度 D-Sub24 ピン）が配置されています。



FCS1000Plus のビデオ入力は、ハイインピーダンス仕様です。ビデオ入力 BNC を使用する際は、付属品の 75 Ω ターミネーションを片方のループアウト端子に接続してください。又は、他のビデオ機器 (75 Ω 入力インピーダンス) へ廻すことも可能です。開放で使用しますとビデオ解析が正しくできない場合があります。

ステータスモニター出力ビデオは、NTSC/PAL の指定がありますので接続するモニターに合わせてください。

AC 電源入力は、AC90 ~ 240V 対応ですので切り替え無しで使用可能です。電源スイッチはありませんので AC ケーブルの抜き挿しで電源の ON/OFF をしてください。

4. 入力ソース種類設定

FCS1000Plus は、SDI, ASI(TS), IP-TS の 3 種類 (4K はオプション) の信号をモニター可能です。4ch 1 ブロックのハードウェア構成になっており 1 ブロック毎に別々の設定が可能です。最後のブロック 4 (BNC 端子 13 ~ 16) のみ IP ソースへの切り替えが可能でありソース入力端子は BNC 端子 13 ~ 16 ではなく Ethernet DATA ポートになります。IP-TS からでカプセルされた ASI(TS) は、1 ~ 3 の ASI(TS) ブロックで入力ソースを IP に指定してモニターする方式となります。

以下の通り 4 つのブロックの入力ソースを選択しそれぞれのエラー検出設定を行います。

Chan	Mode
1	SDI
2	ASI
3	SDI
	SDI 4K

Mode選択、SDI 4K は、
3G-SDI オプションバッケブレーンが必要です。

ブロック 4 のみ IP ソースが
選択可能です。

5. マニュアル、SNMP MIB ファイル

FCS1000Plus の英文マニュアルは、FCS1000Plus web アクセスの右上部 Help ページにリンクが記載（ファイルは FCS1000Plus 内蔵メモリ内に保存）されております。

The screenshot shows the FCS1000-PLUS web interface. At the top right, there is a 'Help' button with a downward arrow pointing to a 'User Guide' PDF file. Below the header, there are several sections: 'Channel Summary' (with 10 items listed), 'System Software Versions' (Release Vers: 4.3.3, FPGAs1: 1.5.7 ASI, FPGAs2: 1.5.7 ASI, CPLD Vers: 3.2; FCS-Manager: 1.9.0, FPGAs3: 1.5.7 ASI, FPGAs4: 1.5.7 ASI, Web/CGI: 1.0.0; Serial Number: V820811), 'System Fan Status and Temperature' (Fan 1: 9540 rpm, Fan 2: 3660 rpm, Fan 3: 9780 rpm, Temp: 36.1°C/97.0°F), and 'Power Supply Status' (12V: 11.71 V, 5V: 5.00 V, 3.3V: 3.29 V, 2.5V: 2.49 V; 1.8V: 1.79 V, 1.2V: 1.20 V, Bat(3.3V): 3.14 V). At the bottom, there is a footer with the nevion logo and system status information: 20/02/2021, 02:35:45 GMT, POWER (green), HEART BEAT (green), CARD FAIL (green), 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 (all green), LOSS (red), BRKDN (red), and LOCK (red).

輸入販売：ネットワークエレクトロニクスジャパン株式会社

〒 104-0041 東京都中央区新富 2-4-4 ソーエイビル 7F

TEL:03-5542-3260 FAX:03-3552-5070

www.network-electronics.co.jp

製造元本社：Nevion AS

Sandfjord (サンネフィヨル) / Norway

製造：Nevion Manufacturing

Gdask/Poland